



オンライン説明会

2023年6月20日（火）16：30～17：00

Q. なぜ生き物の調査をするの？

A. **気候変動**が、生き物を取り巻く自然生態系にどのような**影響**を及ぼすかを調べていくためです。

気候変動適応法第7条に基づき、「**気候変動適応計画**」が令和3年10月に閣議決定されました。下記に「気候変動適応計画」第2章に記載されている分野別の影響と適応策の概要から本調査に関連する部分をご紹介します

分野別の影響

⑤生物季節、分布・個体群の変動

- 植物の開花の早まりや動物の初鳴きの早まりなど、動植物の生物季節の変動について多数の報告が確認されている。気候変動により、種の移動・局地的な消滅による種間相互作用の変化や、生育地の分断化による種の絶滅を招く可能性がある。

適応策

⑤生物季節、分布・個体群の変動

- 植物の開花等の生物季節変化を把握するため研究機関やNPO等と協力した参加型モニタリング調査を継続、強化する。

Q. 気候変動適応って？

A. 気候変動対策は緩和と適応があります。「適応」は気候変動の影響に備えることです。

緩和

とは？

原因を少なく

緩和策の例

節電・省エネ
エコカーの普及
再生可能エネルギーの活用
森林を増やす

温室効果ガスを減らす

適応

とは？

影響に備える

適応策の例

感染症予防のため虫刺されに注意
熱中症予防
災害に備える
水利用の工夫
高温でも育つ農作物の品種開発や栽培

2つの気候変動対策

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

適応がなぜ必要か

気候変動を抑えるためには、**緩和が最も必要かつ重要な対策**ですが、効果が現れるには長い時間がかかるため、早急に取り組みを開始し、長期にわたり強化・継続していかなければなりません。

一方、過去に排出された温室効果ガスの大気中への蓄積があり、ある程度の気候変動は避けられません。気候変動によって、こうした異常気象が将来は頻繁に発生したり深刻化したりすることが懸念されており、変化する気候のもとで**悪影響を最小限に抑える「適応」が不可欠**なのです。もちろん、変化する気候が私たちにとって有利に働くことを活用する適応も考えられます。気候変動がもたらす正の影響も生かしていく視点も大切です。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）

Q. 具体的にはどんな調査をするの？

A. 調査の概要は以下の通りです。対象は生き物全般ですが、特に**セミの情報**を大募集です。

調査期間は2023年6月20日（火）～11月30日（木）までです！

- 今年度の調査期間は上記の約5ヶ月となっています。上記の期間外もプロジェクトへの投稿自体は可能ですが、集計などの対象となりませんのでご了承ください。

調査する場所は中部7県となります！

- 調査の対象となる場所は中部7県（富山・石川・福井・長野・岐阜・愛知・三重）となります。対象以外のエリアの投稿は集計などの対象となりませんのでご了承ください。なお、中部7県内であれば、どこでもOKです。

調査対象は生き物全般。でも、特にセミの投稿をお待ちしています！


- 調査対象は【生き物】すべて。昆虫でも植物でもOKです。特に右記のような【セミ】の情報を探しています！






- ぬけがらの投稿もできます。ぬけがらを投稿するときは、こちらの6～7ページも参考にしてみてください。

【'95 身近な生き物調査 調査の手引き（環境庁）】

https://www.biodic.go.jp/reports2/5th/95_tebiki/5_95_tebiki.pdf

★たとえば、こんなセミを探しています★



種名	ヒグラシ	ツクツクボウシ	アブラゼミ	ミンミンゼミ	クマゼミ
成虫					
鳴き声	カナカナカナ…	ツクツクホーシ ツクツクホーシ…	ジジジジ…	ミンミンミン ミンミー…	シャーシャーシャー シャー…
主な活動次期	7月～9月頃 早朝と夕方	7月～11月頃 午前中と夕方	7月～10月頃 早朝と午後～夕方	7月～10月頃 午前～午後 (地域により異なる)	7月～9月頃 早朝～午前中

Q. 調査に参加してみたい！どうしたら参加できるの？

A. 「iNaturalist」アプリをインストールするだけ。誰でも無料※で参加できます。

※アプリのインストールや投稿にかかる通信費は別途必要です。
※PCでの参加も可能ですが、アプリのインストールを推奨します。

iNaturalistについて

自然とつながる！
世界で最も人気のある自然アプリの1つであるiNaturalistは、あなたの周りの植物や動物を識別するのに役立ちます。100万人を超える科学者やナチュラリストのコミュニティとつながり、自然についてより深く学ぶことができます！さらに、あなたの観察を記録し共有することで、自然をよりよく理解し保護するために働く科学者のための研究品質のデータを作成することができます。
iNaturalistはカリフォルニア科学アカデミーとナショナルジオグラフィック協会による共同イニシアチブです。



これがiNaturalistの背後にあるビジョンです。野外で発見したことを記録するのが好きな方、あるいは生命について学ぶのが好きな方、ぜひご参加ください！

出典：「iNaturalist」HPより（事務局にて日本語に翻訳）

iNaturalistのインストール

iOS(iPhone)



Android



PCなどからのアクセスはこちら → <https://www.inaturalist.org/>

Q. プロジェクトに参加してみたいけど、何をしたらいいの？

A. 生き物を見つけて**観察記録を投稿**するだけ。でもいくつか**お願い**があります。

お願い1：初鳴きは特に大事！観察記録にぜひメモを！

- 初鳴きは気候変動の大事な指標になります。今年初めて鳴き声を聞いたセミの写真や音声を投稿するときは、投稿の際の「**メモ**」欄に「**初鳴き**」と書いてください。



**メモ欄に
「初鳴き」と記載**

Q. プロジェクトに参加してみたいけど、何をしたらいいの？

A. 生き物を見つけて**観察記録を投稿**するだけ。でもいくつか**お願い**があります。

お願い2：リピーターの皆様へ。継続は力なり！過去の投稿と同じ場所での調査にご協力ください。

- 2021～2022年度の調査にご協力いただいた皆様へ、過去の結果と比較をするために、**過去の投稿と同じ場所・同じ時期での調査にもご協力**をお願いします。過去と同じ場所や時期で継続的に調査することで**気候変動の影響を分析**することが可能です。
- 例えば、クマゼミは**地球温暖化によって孵化の時期が変化**したことが示唆され、それが急増の要因の一つとして考えられています。同じ場所での継続調査により、クマゼミの観察記録の増加や初鳴きの時期の早まりが観測されれば、気候変動による影響の示唆につながります。
- もちろん、新しい場所での観察記録についても大募集です。投稿をお待ちしています。

以前と**同じ場所**の投稿をお待ちしています！

新しい場所での投稿も、もちろん大歓迎！



去年と同じ時期なのにセミがない!?

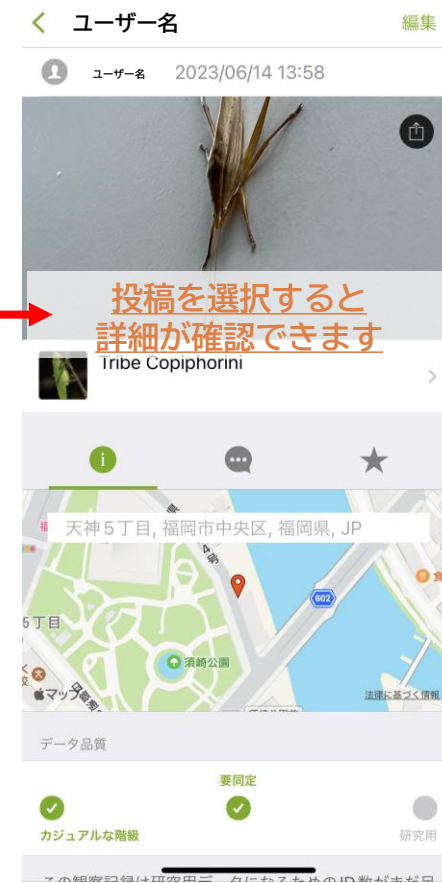
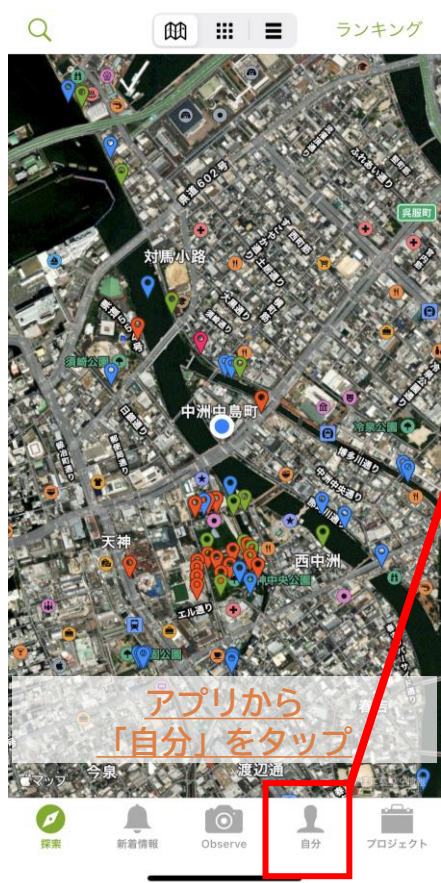
そんな時は**時期をずらして再調査!**もしかしたらそれは気候変動の影響かも・・・?

Q. プロジェクトに参加してみたいけど、何をしたらいいの？

A. 生き物を見つけて**観察記録を投稿**するだけ。でもいくつか**お願い**があります。

リピーターの皆様へ。継続は力なり！過去の投稿と同じ場所での調査にご協力ください。

- 過去の投稿は右記の手順で確認できます。

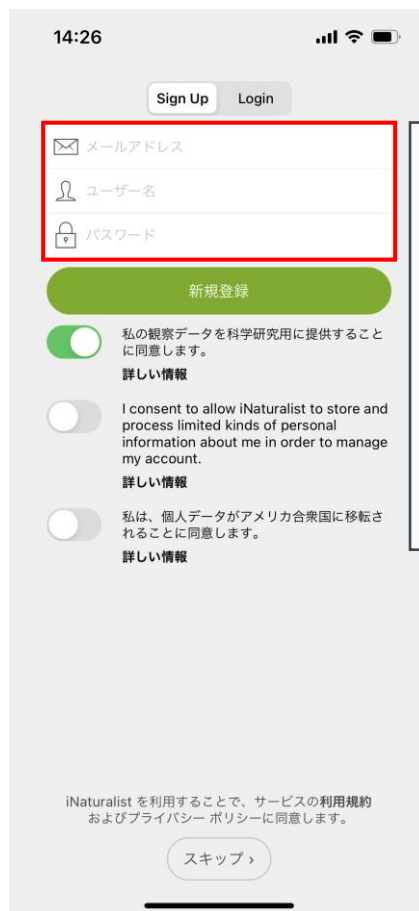


Q. アプリをインストールしたけど、このあとどうしたらいいの？

A. はじめての方はユーザー登録、登録が完了したら**プロジェクト**に参加してください。



インストール後、アプリを開くとタイトル画面が表示されるので、左にスワイプしてください



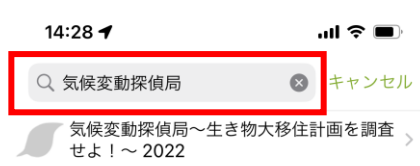
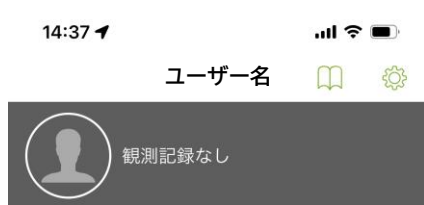
左の赤枠の中に
 ・メールアドレス
 ・ユーザー名
 ・パスワード
 を入力して登録します。
 ユーザー名はiNaturalist
 上で**他のユーザーに表示
 されます**ので、公開して
 差し支えないものとして
 ください。



この画面が表示されたら登録完了です。
プロジェクトへの参加
 に進んでください。

Q. アプリをインストールしたけど、このあとどうしたらいいの？

A. はじめての方はユーザー登録、登録が完了したら**プロジェクト**に参加してください。

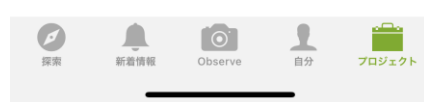
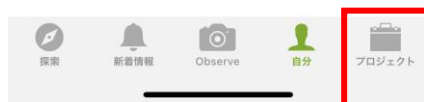


プロジェクトの参加は右下の「プロジェクト」タブから行います。

「プロジェクト」タブを開き、赤枠のところから参加したいプロジェクトを検索します。

「気候変動探偵局」と入力して出てきた検索結果をタップしてください。

タップするとプロジェクトページに移動します。上部の「参加する」をタップすれば完了です。



Q. プロジェクトに参加したけど、何をしたらいいの？

A. 生き物を見つけたら以下の手順に沿って**観察記録を投稿**してください。

14:37 ユーザー名

観測記録なし

15:15 ユーザー名

タップすると下記のアイコンが出てきます。

- ① **新たに写真を撮影して投稿する場合は「カメラ」をタップ**
- ② **すでに撮った写真を投稿する場合は「写真ライブラリ」をタップ**
- ③ **鳴き声など音声を投稿する場合は「録音」をタップ**

観測記録の投稿は下の「**Observe**」から行います。

No Media
カメラ 写真ライブラリ 録音

15:22 キャンセル 詳細

ここに投稿する写真が表示されます

何をみましたか？
提案の表示

生き物の名前（種名）を入力します

2023/06/08 15:15 +09:00
箱崎1丁目, 福岡市東区, 福岡県, JP
Lat: 33.618, Long: 130.423, Acc: 5メートル

基本的に変更は不要です

飼育・栽培 いいえ
プロジェクト

共有

共有を押下で投稿します

タップすると生き物の名前の候補が表示されます

これは GENUS GRAPTOSALTRIA ですよ。

アブラゼミ属
Genus Graptosaltria

Yoshihiro Tokue, 野呂瀬, Hitoshi WATANABE 渡辺仁, その他多くのiNaturalistコミュニティによって提供された観察と識別に基づく提案です

これらが上位の提案です

アブラゼミ
Graptosaltria nigrofuscata

視覚的に類似 / 近くで見られた

Yoshihiro Tokue, 野呂瀬, Hitoshi WATANABE 渡辺仁, その他多くのiNaturalistコミュニティによって提供された観察と識別に基づく提案です

Q アブラゼミ キャンセル

自分で入力することも可能です

INATURALIST

アブラゼミ族
Tribe Polyneurini

アブラゼミ属
Genus Graptosaltria

アブラゼミ
Graptosaltria nigrofuscata

ブレースホルダ

アブラゼミ

Q. プロジェクトに参加するときの注意点は？

A. プロジェクトに参加する際は、以下の点に注意してください。

投稿は野生のものに限ります。飼育動物や栽培植物の投稿はご遠慮ください。

- 今回の調査は、実際に「今」どこに生き物が住んでいるかを調査しているものとなりますので、**野外で見つけた生き物のみ**の投稿をお願いします。
- 自宅などで栽培している植物や飼育している動物、図鑑や標本などの投稿は調査対象外となりますので、投稿はご遠慮ください。

調査時にはマナーと安全を守って行動を！

- 野外で生き物を探すときは、熱中症対策と蜂などへの注意を万全にしてください。また、調査中の事故やケガには十分注意し、立入禁止区域や危険なところには近づかないなど、マナーと安全を守った行動を心がけてください。

マナーと安全に気を付けて、楽しく観察を！

Q. プロジェクトで調査した結果はどうなるの？

A. 結果はとりまとめて**気候変動のモニタリング資料**として活用します。

- 調査結果については、調査期間終了後に取りまとめを行い投稿の分布やセミの時期別の出現数などの項目で分析、可視化を行います。とりまとめの成果については、プロジェクト終了後に公開予定です。
- 過去の結果等との比較も行いながら、気候変動による生物多様性への影響を把握していくことに活用します。

調査結果の公開

過去調査報告書の公開

- 環境省中部地方環境事務所のHPで2021年度及び2022年度の調査結果を公開しています。

セミナー動画の見逃し配信の公開

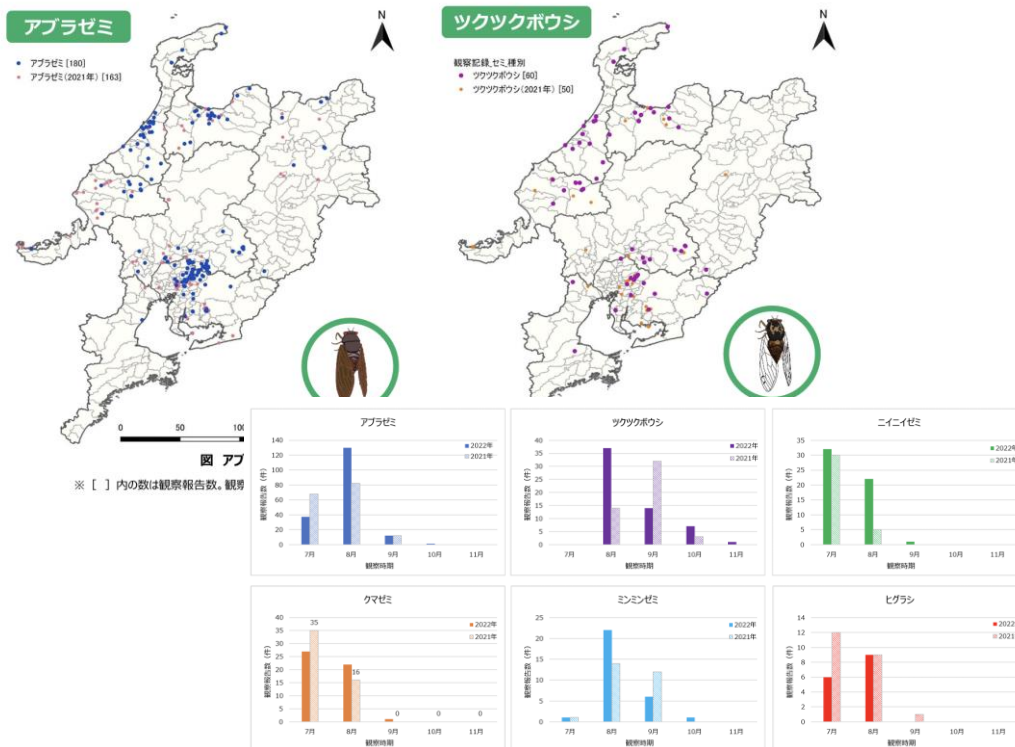
- 2021年度及び2022年度に実施した関連セミナーの見逃し配信を公開しています

【URL】中部地方環境事務所

https://chubu.env.go.jp/earth/ad_nature.html

その他

- PC版のiNaturalistにログインしてプロジェクトページにアクセスすることでリアルタイムに調査の情報を見ることができます。



2022年度の調査結果の可視化イメージ